



特集のその後

アンケート結果をお知らせします

あした天気になあれ

〜6万人目のまちづくり〜

昨年12月号の広報ふくつで、6万人目のまちづくりを考える特集「あした天気になあれ」を組みました。その中で「広報ふくつアンケート」を実施していましたが、22通の御意見が寄せられました。その一部を皆さんに紹介します。



▲市では、駅東地区などの開発による人口増加に伴い、人口ビジョンを作成しました。また、地域創生の取り組みを推進するため、「福岡市まち、ひと、しごと創生総合戦略」も案を市民意見公募中です。

福岡市が重要視すべき課題は

アンケートには三つの項目がありました。最初の質問事項は「福岡市が今後、重要視すべき課題は何だと思いますか」でした。数ある行政課題から皆さんが選んだ上位3は左の表のとおりでした。

上位3	
順位	行政課題
1	行財政改革
2 (同率)	高齢者支援 バス路線の充実
3 (同率)	郷づくり活動 健康対策

社会基盤の老朽化を感じたことは

アンケートの二つ目の質問事項は「福岡市内の社会基盤で老朽化を感じたことがありますか」でした。市内の学校や公民館等、橋、道路などで、老朽化を感じた場所やその理由を書いてもらいました。小・中学校や道路の老朽化が挙げられる中で、最も回答が多かったのは自治公民館の老朽化です。多くの地区で公民館の老朽化が進んでおり、建具の歪みや雨漏りなども発生しているようです。自治公民館は市の保有する施設ではなく、自

治会等が自主的に運営していますが、修繕等の対応が必要とされています。

まちづくりへのそれぞれの思い

三つ目の項目は、自由意見記入欄です。今回の特集で感じることや、まちづくりにについて思うこと、感じることを記入していただきました。紙面の都合もあり一部となりますが、紹介します。

人口6万人を超えたことは喜ばしいことですが、長期的には高齢化の進行は避けられま

せん。上昇している今こそ、その対策を考えるべきだと思います。

(60歳代男性)

特集で組みましたように社会保障費の増や公共施設の老朽化対策など、多くの行政課題があります。計画的、かつ慎重な財政運営をしつつ、将来を見据えた行政経営を進めていきます。

(市行政経営企画課)

地域発展のため、福岡市の良いとを活用したブランド作りが必要だと思います。次世代につなぐためにも、若者が働ける

場所を作り、住民と行政が手を取り合うまちづくりが必要ではないでしょうか。

(60歳代男性)

地場産品ブランド「福津の極み」や風景ブランド「福津三十六景」など、平成21年度に策定した「福津ブランド戦略」に基づき、さまざまな福津ブランドの推進をしているところです。今後も市民の皆さんとの連携・共働で事業を進めていきますので、御協力をお願いいたします。

(市商工観光課)

福津市は、福岡駅東の開発など発展を続けています。それに伴う子どもの増加に、保育園や

小学校などの設備が追い付いていないように思います。幼稚園の民間委託等はやむをえないことだとは思いますが、財政支援はしっかりとしてほしい。

(40歳代男性)

保育所を民間委託等したり、幼稚園を統合したりしますが、「安心して子どもを生み育てられるまち」であるように、そして保育所に入れない子どもたち(待機児童)がなくなるように、いっそう子育て支援に取り組んでいきたいと思っています。

(市学校教育課、市こども課)

高齢者の意見ばかりが尊重されているような気がします。広

報紙も、若い世代はあまり必要と感じていないのでは。ITなどを活用したスマートな福津市が見てみたい。

(20歳代男性)

若い人たちの意見も、ぜひお聞かせください。広報紙についても、幅広い世代のかたに読んでいただきたいと思っております。より皆さんに親しまれる紙面を目指しがんばります。

(市広報秘書課)

海の近くに住みたいという思いから、利便性や砂浜までの近さを考え、福津市に転居しました。住んでみると農・水産物が安くて新鮮で、豊かな気持ちに

なります。また、ごみのリサイクル活動などでは、コミュニティが機能していると感じます。加えて、きれいになった松林は、市の財産です。しかし、砂浜に漂着するごみの処理は課題だと思っています。

(60歳代女性)

砂浜に漂着するごみには正直、市も苦慮しています。市が独自で清掃したりするほかにも、多くのかたにボランティアとして清掃をしていただいています。回数でいえば年間300回以上にもなりますが、残念なことに御指摘のとおりです。今後も地道に取り組みます。

(市うみがめ課、市商工観光課)

社会基盤の老朽化対策に取り組んでいます

まずは道路橋についてですが、全国的に高度経済成長期以前に作られた橋が多く、老朽化への早急な対策が必要です。平成26年度には、道路橋を5年に一度定期点検することが義務付けられました。市でも定期的な橋の点検と診断、状況に応じた措置に取り組んでいます。

市が管理する道路橋は、水路に架かる2メートル程度のものから、国道3号やJR鹿児島本線に架かるものまで、計274橋があります。このうち、対策を実施している橋は、工事中を含めて5橋あります。部材の剥落(はくろく)を防ぐ工事や、コンクリートや鉄の劣化の原因になる水や塩分の浸入を防ぐ工事を主に取り組んでいます。

また、築51年が経過する教室棟がある福間小学校については、生徒数の増加も見込まれることから、増築や建て替えを視野に入れた計画を模索中です。

これに限らず、市の管理するほかの公共施設についても、将来にわたって効率良く運営できるように、対策の検討を進めていきます。



▲工事をしている光陽台跨線橋